様式第２号（第６条関係）

意見交換会実施報告書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日時 | 令和６年８月２２日（木）　午前９時〜１０時３０分 | | |
| 実施場所 | 砺波市社会福祉会館　　２階　大会議室 | | |
| 出席議員 | 川辺　一彦 | 大楠　匡子 | 開田　哲弘 |
| 小西　十四一 |  |  |
| 参加者数 | 男性　　３人　　　女性　　　１人　　　計　　　　４人  （団体等の名称　社会福祉法人　砺波市社会福祉協議会　） | | |
| 実施概要 | テーマ：   1. 能登半島地震における社会福祉協議会の活動支援について 2. 今後の福祉施設のあり方について | | |
| 能登半島地震における社会福祉協議会の活動支援について  【主な質疑】  Ｑ１ 氷見市におけるボランティア受付においては、ネットで事前受付し参加された方もおられたとの事であるが、当日受付とどのように区別されていたのか。また、事前受付の方はどの程度おられたのか。  Ａ１ ネットでの事前受付の方が主流であった。受付は、当日受付と事前受付と別々に設け対応されていたので、スムーズであった。  Ｑ２災害ボランティアセンターは、氷見市は氷見市いきいき元気館という建物内に、輪島市は屋外にテントを張って設けられていたようだが、砺波市~~で~~は社会福祉会館が耐震化されてないので、砺波図書館の駐車場を予定されているとのことだが、社会福祉会館の近くの方が良いのか。また、屋外だと、天候等の問題もあるので、建物内の方が運営しやすいのではないか。  Ａ２ 災害ボランティアセンターは、やはり社会福祉会館の近くの方が運営しやすい。今回の地域防災計画の見直しにより、砺波図書館駐車場が追加となった。季節や天候により、屋内を主として利用しなければならない場合も想定する必要があるのではないかと考えている。  今後の福祉施設のあり方について  【主な質疑】  　Ｑ１ コロナ禍が落ち着き、福祉センター（施設）の利用者数も増えてきているようである。それぞれの福祉センターにおいては、高齢者の楽しめる教室の開催や楽しいイベントを数多く企画されているが、最近では、子ども達の居場所としても活用していただこうという事で、「こどもの遊び場」などが行われ、無料で利用出来るが、子ども達の利用者数は。  　Ａ２ 令和５年４月から、子どもと一緒に利用する保護者の利用料を無料にしている。北部苑では、「北部苑DEあそぼう」の実施や、夏休み中の子どもの利用促進を図っており、利用者数は令和４年度の５９６人から５年度は１４３２人と約３倍となっている。また、その保護者数も５２２人となっている。  　Ｑ２ 庄東センターが老朽化により、旧般若幼稚園に移転することになり、入浴施設が無くなるが、その影響についてどのように考えておられるか。また、今回の移転について、利用者の意見を聞かれたのか。  　Ａ２ 旧般若幼稚園は市の施設であるため、運営をどこが行うのか決まっていないが、過去に麦秋苑の入浴施設が無くなった時、利用者数が大幅に減少した。今回はそのような事の無いように、活動内容に工夫を凝らし、特徴的な内容を検討したいと考えている。  　現庄東センターと旧般若幼稚園の現状について、利用者に対する説明会を一度行った。庄東地区ではアンケートをすでに実施しており、アンケートの実施については考えていないが、もし、社協が運営することとなればこれまで実施されていた教室等を精査し、なるべく利用者の想いに沿った施設となるようにしたい。    【主な意見・要望等】  　長らく愛された庄東センターが移転する事を、利用している高齢者は、不安な思いで受け止められているようである。入浴施設も無くなるので、利用者にアンケートを取るなどして、利用者のニーズを把握し、高齢者が楽しめる居場所となるよう努めていただきたい。 | | |